

認知症高齢者等支援に関する取組状況：津市

認知症地域支援推進員の取組状況

(1) 地域におけるネットワーク体制の構築

- 認知症疾患医療センター主催の中勢認知症集談会・事例相談会への協力  
三重大学大学院医学系研究科 認知症医療学講座を事務局とした、地域の医療、福祉、介護関係者向けの研修会の運営サポート
- 認知症疾患医療センターと市内包括支援による定期的な意見交換会の開催
- 介護保険サービス事業所による困難ケース対応支援に係る連携
- 地域の民生委員との会議開催
- 市内認知症専門医（三重大、医師会 等）と市内地域包括支援センターの意見交換会や事例検討会の開催

(2) 認知症の人や家族を支援する事業

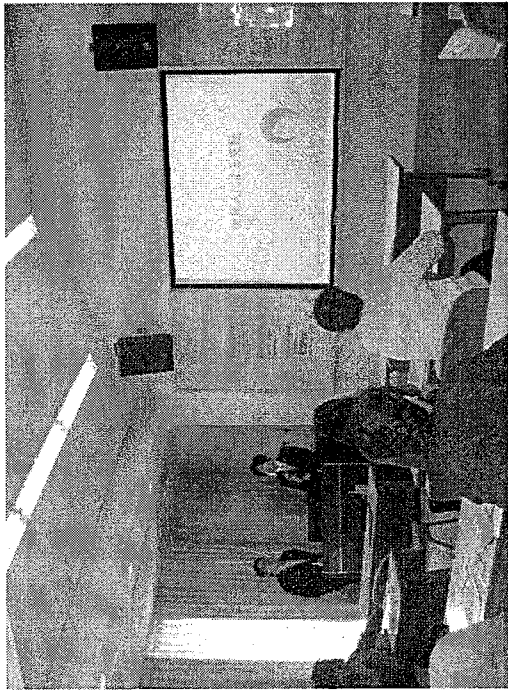
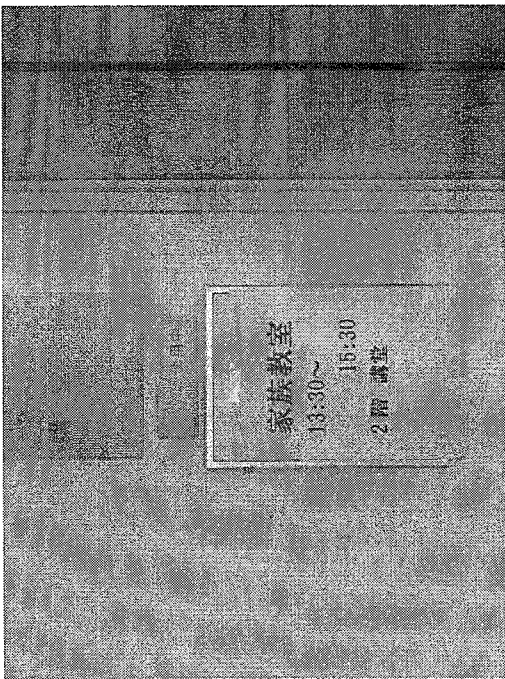
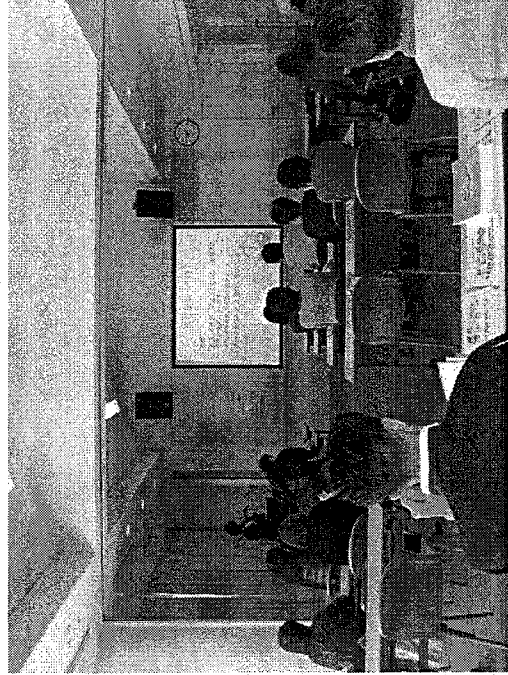
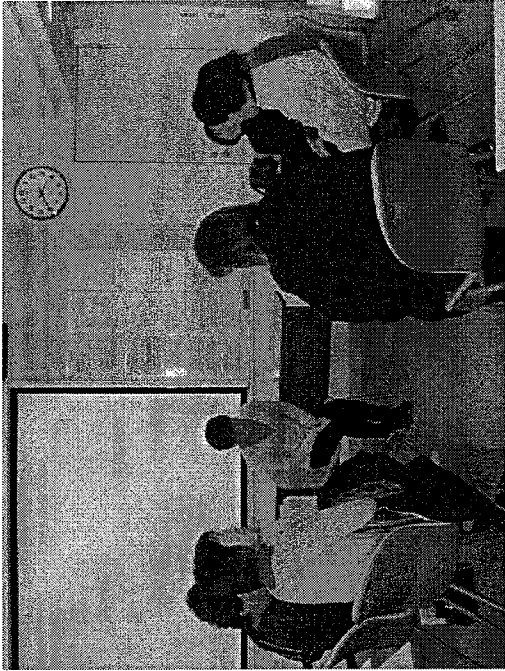
- 認知症疾患医療センター（こころの医療センター）、認知症地域支援推進員、地域包括支援センター等による講義形式、並びに認知症の人と家族の会とグループワークやミーティング、コミュニケーション形式による家族介護教室を開催（1クール4回 年間3クール開催）：別紙ちらし・アンケート・写真添付
- 認知症サポーター養成講座の実施
- キッズサポーター養成講座も実施
- 市内地域包括支援センターや在介護支援センター、津市社会福祉協議会における「認知症予防教室」を実施

(3) 市内地域包括支援センター、在宅介護支援センター、居宅介護支援事業者等に対する支援

- 市内地域包括支援センター全体会議、地域連携会議、ケアマネ交流会において、困難ケース対応支援
- 居宅介護支援事業者等からの相談に対して関係者との同行訪問、情報提供

認知症家族教室

の様子



平成24年度第1回

# 認知症家族教室のご案内

～「もの忘れのある人を支える家族」を応援します～

- ★ 認知症の方の介護に、不安や戸惑いを感じることはありませんか？
- ★ 相談できる人や協力者がいなくて、ひとりで悩んでいませんか？

場所：三重県立こころの医療センター（2階 講堂）

費用：無料



※講師の都合により、一部日程と内容を変更する場合があります。

※第3日目は、日時が異なりますのでご注意ください。

第1回	日時	内容	講師
第1日目	4月28日(土)	介護保険サービスなどについて知ろう	津中部南地域包括支援センター
	13:30～15:30	集い交流会	介護経験者
第2日目	5月26日(土)	認知症の関わり方について学ぼう	津中部南地域包括支援センター
	13:30～15:30	集い交流会	介護経験者
第3日目	6月29日(金)	集い交流会	介護経験者
	15:00～17:00	認知症について正しく知ろう	こころの医療センター(医師)
第4日目	7月28日(土)	フォローアップ研修	法テラス三重
	13:30～15:30	集い交流会	介護経験者

★申し込み先：三重県立こころの医療センター 医療福祉グループ 山元・生駒

FAX: 059-235-2135(裏面を記入し FAX でお申し込み下さい)

主催：中勢伊賀地域認知症疾患医療センター（三重県立こころの医療センター内）

協力：三重県認知症コールセンター・津市内地域包括支援センター・

津市高齢福祉課

## 【参加申し込み書】

注)基本は3日間の研修となります。参加ご希望の日に○をつけてください。

4日目のフォローアップ研修は3日間の研修を終了した方が対象になります。

	1日目	2日目	3日目	4日目
第1回	4月28日	5月26日	6月29日	7月28日

代表者のお名前	住所又は所属	連絡先

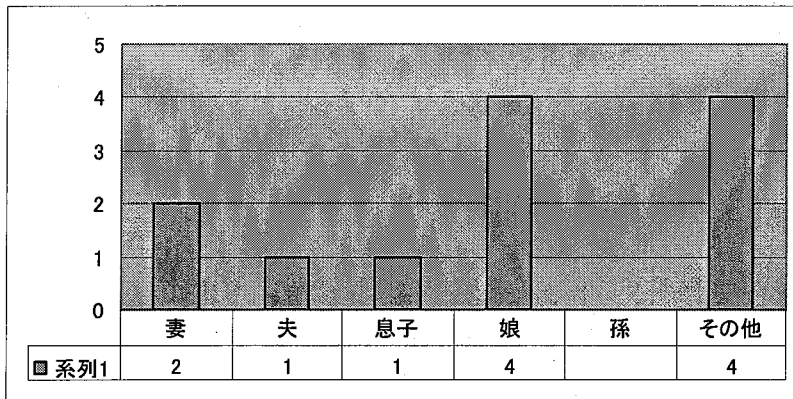
参加者のお名前	現在認知症の方の介護を行なっている (○又は×)	その他

申し込み先 (FAX) 059-235-2135

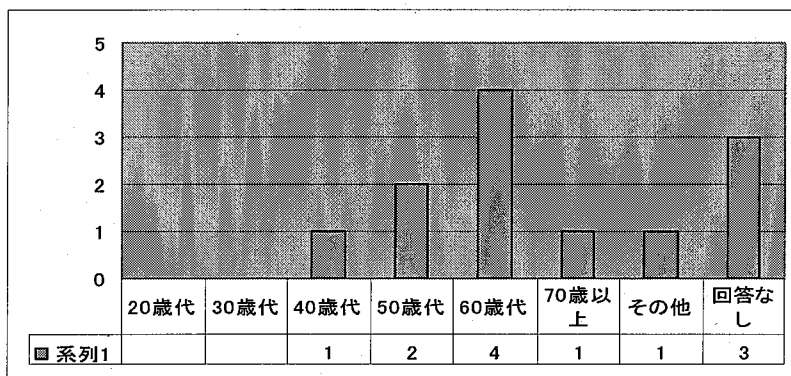
医療福祉グループ(山元・生駒)

認知症家族教室（平成24年6月29日）アンケート結果  
 19名の参加者（家族）のうち12人から回答が得られた

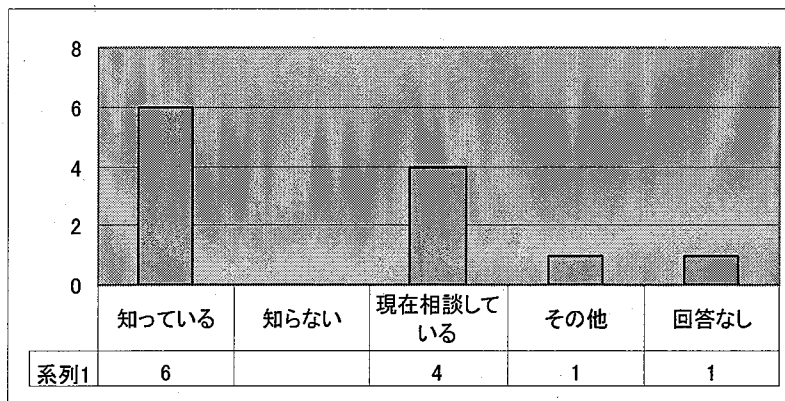
1. ご本人との関係



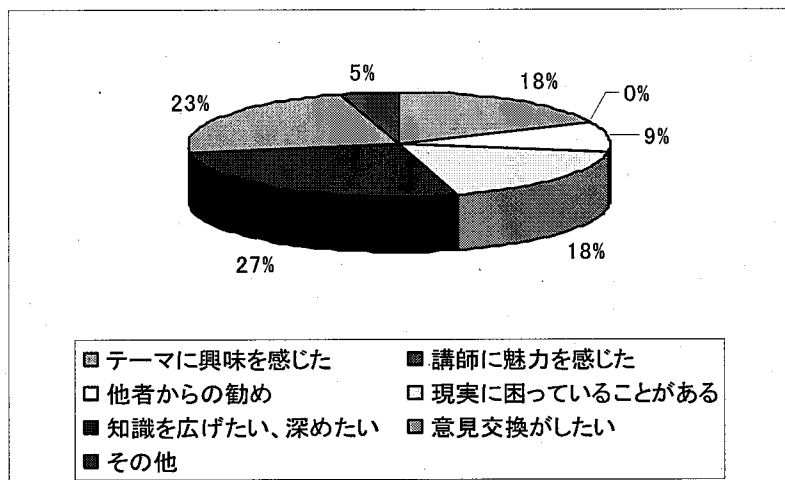
2. 介護者（介護に携わっている方）の年齢



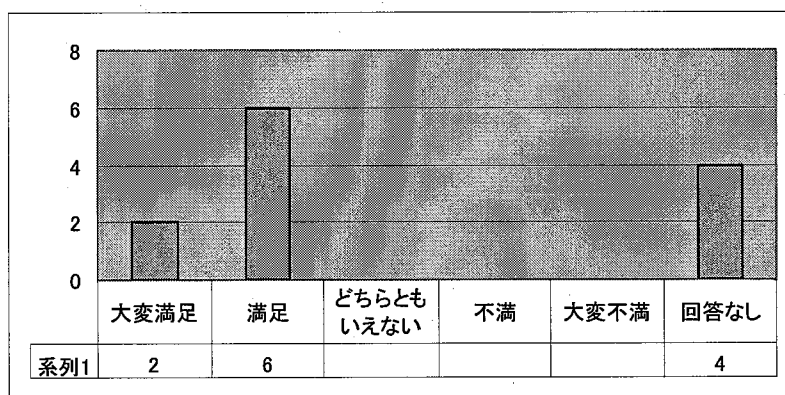
3. 相談する場所をご存知ですか



4. 今回の家族教室に参加された動機を教えてください（複数回答可）



5. 今回参加された内容はいかがでしたか



ご意見・ご感想

- ・ もう少し長い時間があってもいいのでは。
- ・ 脳血管性認知症の治療についてもっと知りたい。
- ・ 思い当たること多々あり。
- ・ 元気の良い小畑先生は気持ちが良かった。録音が出来るといいですね。

6. 今後取り上げて欲しいテーマや講師等がありますか

- ・ 笑いヨガ

7. その他お気づきになられたことがありましたらご記入下さい

- ・ 出来たら話しだけではなく、10分くらい体を動かしたり声を出したりする時間を設けてもらいたいと思う。

## 認知症高齢者等支援に関する取組状況調査（東員町）

### 認知症地域支援推進員の取組状況

#### （1）医療・介護・地域支援サービスの連携を図る事業

##### ① 認知症疾患医療センター連絡協議会への参画

地域における認知症疾患の保険医療水準の向上を図る目的とした、認知症疾患医療センター連絡協議会に参画し、関係者の連携を図っています。

参加者：認知症疾患医療センター  
保健医療関係者  
福祉関係者  
地域包括支援センター、行政

【平成23年度実績 開催回数 1回】

【平成24年度上半期実績 開催回数 1回】

##### ② 関係団体等連絡会議の開催

###### ○認知症疾患医療センター相談員連絡会議の開催

認知症疾患医療センター相談員との連絡会議を週1回定期的に開催し連携を図っています。

参加者：認知症疾患医療センター相談員  
地域包括支援センター

開催状況：毎週金曜日

【平成23年度実績 開催回数 45回】

【平成24年度上半期実績 開催回数 20回】

###### ○民生委員との連携

民生委員に対し、「認知症」及び「認知症地域支援推進員（認知症連携担当者）」について、会議を開催し、認知症や推進員について周知、啓発を図り、スムーズな相談体制の構築を図っています。

【平成23年度実績 開催回数 2回 参加者数 58名】

###### ○認知症キャラバンメイトの連絡会議（オレンジハートの会）の運営

認知症キャラバンメイトによる連絡会議を立ち上げ、キャラバンメイトによるサポーター養成の取り組みを推進しています。

###### ◎認知症地域支援推進員によるサポーター養成講座

【平成23年度実績 開催回数 1回 参加者数 23名】

【平成24年度上半期実績 開催回数 1回 参加者数 67名】

###### ◎65歳到達者への認知症勉強会（サポーター養成講座）

【平成24年度上半期実績 開催回数 4回 参加者数 18名】

###### ○認知症サポーターに対する取組

認知症サポーターに対し、サポーター取得後のフォローを検討します。

## (2) 認知症の人や家族を支援する事業

### ① 認知症に対する相談支援

認知症疾患医療センター、町内医療機関、介護事業所、民生委員、地域及び家族からの認知症に対する相談に対し、必要な支援を行うと共に、それぞれの連携調整を図ります。

【平成 23 年度実績                      対象者    54名    支援回数    90回】

【平成 24 年度上半期実績              対象者    27名    支援回数    81回】

### ② 若年性認知症の確定診断を受けた者に対する必要な支援

認知症疾患医療センター、その他関係団体と連携を図り、若年性認知症者に対する支援を行います。

【平成 23 年度実績                      対象者    1名    支援回数    3回】

【平成 24 年度上半期実績              対象者    1名    支援回数    2回】

### ③ 認知症家族に対する交流会及び相談会の実施

認知症家族介護相談会及び交流会を月 1 回定期的に開催し、認知症の人を介護する家族等のネットワークの構築を図っています。

【平成 23 年度実績                      開催回数    10回    参加者    17名】

【平成 24 年度上半期実績              開催回数    5回    参加者    25名】

### ④ 他職種が参加する認知症の人の支援のための研修会・事例検討会の開催

認知症の人と係る機会の多い、介護事業所等を対象に、認知症に対する研修会・事例検討会を開催します。

【平成 23 年度実績                      開催回数    2回    参加者    58名】

【平成 24 年度上半期実績              開催回数    1回    参加者    19名】

### ⑤ 認知症及び「認知症地域支援推進員（認知症連携担当者）」の周知啓発

シニアクラブや元気老人サロン事業など地域へ出向き、講座等を開催し、「認知症」及び「認知症地域支援推進員（認知症連携担当者）」の周知啓発に努めています。

### ⑥ 認知症の人と家族を支える地域の人材やサービス拠点について情報収集

認知症に対する支援者の情報を収集すると共に、地域資源マップの作成に取り組みます。

### ⑦ 地域密着型事業所との認知症に係る連携体制の構築

町内の地域密着型サービス事業所（グループホーム 2 ヶ所、認知症対応型通所介護 2 ヶ所）との認知症に関する連携体制を構築し、認知症に関する相談窓口等として、広く地域住民へ周知し認知症に対する取り組み強化を図ります。



## 平成 24 年度「市町村認知症施策総合推進事業」取組状況報告書

伊賀市 介護高齢福祉課

### (1) 医療・介護・地域支援サービスの連携を図る事業

#### (ア) 医療機関関連検討会議

平成 25 年 3 月開催予定（調整中）

保健・医療・福祉の総合的な相談窓口の設置や、相談支援ネットワーク体制の構築等について検討する「総合相談支援体制検討担当者連絡会」に認知症関連の医療機関に参画いただき、関係者の連携を図ります。

《参加予定者》

三重県こころの医療センター、市内の精神科病院、認知症サポート医、伊賀市地域包括支援センター、伊賀市障害者相談支援センター、伊賀市ふくし相談支援センター、伊賀市高齢者ふくし相談室

### (2) 認知症の人や家族を支援する事業

#### (ア) 伊賀市高齢者あんしん見守りネットワーク事業

伊賀市に住む高齢者が、認知症になっても住みなれた地域で、安心して生活できるよう、また、高齢者等を虐待等の権利侵害から守るため、地域の社会資源の連携を図るとともに、認知症に対する正しい理解への周知啓発を目的に実施しています。

保健・医療・福祉の分野だけでなく、商店・金融機関・交通機関など、高齢者の生活にかかわる様々な関係機関と地域のみなさんが一緒になって見守り、支えあう仕組み（ネットワーク）を作っています。

また、事業の一環として、より多くの方に認知症に対する正確な知識と理解をいただくために、見守りネットワークの協力員および一般市民を対象とした講演会や研修会を開催しています。

#### ①見守り協力員名簿の更新

平成 24 年 10 月 1 日現在の情報で見守り協力員名簿を更新し、最新の地域資源マップに反映しました。

## ②地域資源マップ最新版の作成

2500部を印刷。

すべての見守り協力員へ配布するとともに、市内施設（市民センター、保健センター等）にも配布します。

## ③認知症と認知症ケアの研修会（講演）

平成24年12月9日（日）開催。

事業の一環として、より多くの方に認知症に対する正確な知識と理解をいただくことを目的に講演会を開催しました。なお、この講演会は高齢者あんしん見守り協力員の研修会と市民への啓発を兼ねて開催しました。

演題「認知症の人の歴史から学ぶ～ここまできた認知症の人の生きる姿～」

講師：特定医療法人財団健和会 看護介護政策研究所 所長 宮崎和加子

参加者数 139名

## （イ）認知症サポーター養成講座

①上記「認知症と認知症ケアの研修会」を認知症サポーター養成講座も兼ねて開催し、参加者のうち114名の方にサポーター登録していただきました。

②イオン伊賀上野店にてイオンのキャラバンメイトによる従業員向けの養成講座開催（12月13日と14日の2日間で9回開催）

→ このうち、13日の2講座を伊賀市のキャラバンメイトが担当

サポーター登録者数 1回目：18名 2回目：19名

また、イオン伊賀上野店内のサービスカウンターおよび医薬品売り場に、認知症サポーター養成講座で使用している独自資料冊子「認知症ガイドブック」と「いつまでも元気に輝くために」を常備し、希望者に無料配布しています。

## （ウ）キャラバンメイト修了生研修会

平成25年1月23日（水）開催予定。

キャラバン・メイトとして登録されていても活動実績がない方等を対象に、キャラバン・メイトとの役割や「認知症サポーター養成講座」の開催手法等についての知識を深め、現在活動していない登録者のスキルアップと、今後の積極的な活動の啓発を目的として研修会を開催します。

講師 社会福祉法人 青山里会 通所施設四郷デイサービスセンター

ケアワーカー次長 服部智美氏

参加予定人数 15名

(エ) 介護サービス事業所職員研修会

平成 25 年 1 月 18 日（金）開催予定。

認知症の利用者の増加に伴い、介護保険サービスの提供において認知症の知識は必要不可欠なものとなっています。そこで、市内介護サービス事業所職員（介護サービス従業者）を対象に、認知症について基本的な知識を学ぶことにより介護サービス事業所職員の資質の向上を図り、介護サービスの質の向上を図ることを目的に研修会を開催します。

研修テーマ「認知症の理解とケアの基本について」

講師 介護ホッとステーション・クローバー代表 渡辺哲弘氏

参加予定人数 70 名

## 平成24年度「市町村認知症施策総合推進事業」取り組み状況報告書

### 玉城町地域包括支援センター

#### (1) 医療・介護・地域支援サービスの連携を図る事業

##### 1) 認知症の人が安心して暮らしていくためのシステムをみんなで協議する会議 (地域ケア会議)の設置

- ・平成25年3月第1回会議開催予定
- ・会議開催までに、運営委員会(仮)を設置
- ・協議会の運営・メンバーについては運営委員を中心に検討・調整していくが、医療・福祉・保健等の関係者だけでなく、地域住民を巻き込んでの会議としたい。そのため固定メンバーで定期的を開催する会議の設置だけでなく、住民が気軽に参加できるような会議の場も創設していく。
- ・認知症の人およびその家族が状況に応じて適切なサポートを受け、住みなれた地域で安心新して生活していくために、認知症の地域体制づくりに関係する関係者が集まり、認知症支援に関する地域のニーズを検討し課題解決にむけた取り組みを協議し具現化していく場として協議会を設置。

困難ケースの個別支援会議だけでなく、地域のニーズにあった社会資源の開発や施策に対する提言を出来る場としたい。また関係機関の情報交換およびネットワークの形成を図ると共に、オーダーメイドのプランに対しては積極的に住民支援(地域住民によるインフォーマル支援)を取り入れ、地域への働きかけの場としたい

#### (2) 認知症の人や家族を支援する事業

##### 1) 認知症の人および家族を支援する「サポーターさくら」とともに、地域での認知症の理解や支援の取り組み

###### (あ) 認知症サポーターの育成(地域での研修会の開催)

- ・認知症サポーター養成講座の実施(3回シリーズ/年1回)
  - ・第1回養成講座(9月15日):「うつと認知症」 講義:織部医師
  - ・第2回養成講座(9月29日):認知症の病気と予防法
  - ・第3回養成講座(10月6日):認知症の人への対応の仕方と座談会
- ・キッズサポーター養成講座の実施
  - ・福祉体験講座の1コマ(60分)(8月2日)  
町内の小学校5,6年生 36名参加
  - ・キッズサポーター養成講座(2コマ90分)(9月27日)
- ・地域密着型事業所と地域の学習会への協力(9月25日)
- ・サポーターさくらフォローアップ研修会の開催(1月26日実施予定)

「傾聴」

・ケーブルTVを使った認知症の対応方法についての周知（さくら小劇場）

(い) 認知症予防への取り組み

・包括支援センターが実施している一般高齢者向けの事業への参加、協力

(う) 認知症の高齢者および家族等への個別支援

・気になる人の発見・見守り・情報提供

・健（脳）健（脚）教室参加者（二次予防事業）への支援（お誘い・声かけ等）

(え) 高齢者施設への行事への参加・協力（外出・イベント等）

・7施設へ訪問（月2回程度 1回2名～1.0名）

(お) サポーターさくらの周知

・さくらTシャツの考案・制作への協力

・広報（11月号）・ケーブルTV

(か) サポーターさくら会員フォローの為の協力

・交流会（1月26日）の開催協力

2) 生活支援サービスへの取り組みについての検討

・生活支援サービス実施にむけた課題等の把握および運営に関する方法の検討をサポーターさくらの運営委員会の場の中で検討していく

・事務局：包括支援センター

・運営会議の開催：9回実施

3) 認知ケースに関する困りごと（困難ケース）へのスーパーバイズ

・主に行動障害で対応に苦慮しているケースに関わり、アセスメントおよび支援方法をアドバイス、必要であれば、行政や医療機関等の連携調整を行なう。

・施設1件 ・在宅2件

4) 小集落単位（字）での地域住民による介護予防サロン（〇〇地区柔らかクラブ）の立ち上げ

・定期的に効果的な運動を楽しく実施することは認知症の予防につながることは実証されているが、実際のところ後期高齢者の予防事業への参加が増えない。そこで気軽に行きやすい生活圏域で事業を実施することで、後期高齢者への参加意欲を高め、認知症の予防および、地域の中での孤立予防さらにはいざという時の関係づくりを強化する。

- ・実施は元気な地域に関心のある地域住民
  - ・準備検討地区：2地区
  - ・開始にむけて現在地域住民と調整、3～4月実施にむけて調整中
- 5) 徘徊SOSネットワーク（玉城町徘徊捜査丸ごと大作戦）構築事業の実施
- ・認知症等により行方不明なった高齢者の発生時に地域で早期発見・保護に繋げるための地域住民・関係機関等による仕組みを構築する
  - ・区長会（2月2日）への説明のあと、関係機関へ説明を行ない、模擬訓練実施の為の研修会を開催し、今年度中に一度実施する予定
  - ・先進地事例の見学  
9月23日大牟田市徘徊SOSネット枠模擬訓練視察
  - ・模擬訓練実施にむけての検討の結果具体的な方法についてはサポーターさくらの運営会議で検討し、おおむね案ができています
- 6) 安心見守りステッカーの制作・配布
- ・ステッカーについては他地域のものを参考に現在検討中
  - ・今年度中には制作予定
  - ・具体的な配布については現在検討中